

精神保健福祉 ボランティア養成講座

参加費
無料

精神保健福祉ボランティア養成講座では、「精神障害」についての理解を深め、当事者の方々と共に支え合う関係性をつくることのできるボランティアの養成を目指しています。講座終了後は、地域活動支援センターなどの活動をお手伝いしていただく予定です。ボランティア活動の第一歩として、ぜひご参加ください。

◆対象：市内在住

※講座修了後、地域活動支援センターなどのお手伝いができる方

◆会場：稲城市福祉センター 2階 介護予防教室

◆定員：6名程度

※2/16(水)までに電話・メールでお申し込みください。

※3回の連続講座になります。全ての日程に参加できない場合はご相談下さい。

① 2/17(金) 14:00~16:00	精神保健福祉講座『精神疾患についての基礎知識』 講師：稲城台病院 院長 永野満氏
② 3/13(月) 14:00~16:00	『傾聴講座』 講師：浜田雅子氏(臨床心理士)
③ 3/17(金) 14:00~16:00	グループワーク まとめ・ふりかえり

申し込み・問い合わせ

稲城市社会福祉協議会 地域活動支援センター

TEL:042-370-2480 メール: soudan@inagishakyo.org

2/17 (金) 講師紹介 永野 満 氏

稲城台病院院長 認知症疾患医療センター長 (精神保健指定医、精神科専門医、医学博士)

昭和 60 年東北大学医学部卒。自治医科大学大学院卒 (学位取得)。茨城県立友部病院、東京都立中部精神保健福祉センターを経て、平成 15 年稲城台病院副院長。平成 26 年より現職。

専門は統合失調症の精神病理学だが、臨床は躁うつ病、神経症、発達障害、認知症と幅広く取り組んでいる。稲城市唯一の精神科病院の院長として、地域精神医療システムの構築に尽力している。

3/13 (月) 講師紹介 浜田 雅子 氏

臨床心理士、公認心理師、タッピングタッチインストラクター、特別支援教育士。

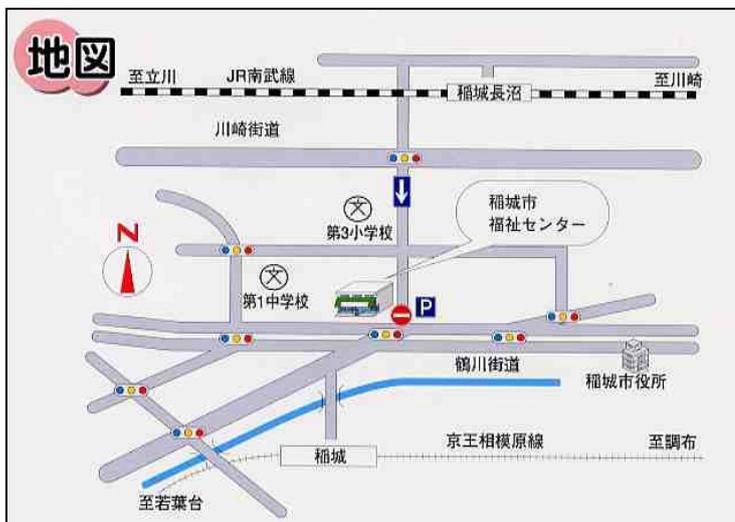
これまで、スクールカウンセラーをはじめ、教育・福祉・医療等の現場で、多くの方と出会ってきました。”傾聴”とは一方向のものではなく、聴き合うことにより、双方が影響を受け変わっていくところに出会いの意味が含まれているように思います。

まずは一緒に学んでみませんか？当日はリラックス法も取り入れます。

地域活動支援センター……どんな場所？

障害のある人たちが地域で安心して、心豊かに暮らせるように相談、日常生活や地域交流の支援をしていくところです。家族、ボランティア、関係機関、地域の人たちと、共に支え合い、お互いが自分らしく生き生きと過ごせるように応援します。通称『地活 (ちかつ)』と呼ばれています。

ご協力していただけるボランティアの方は随時募集しております。ボランティア活動にご興味がある方はぜひこの機会に本講座にお申込みください。



会場/アクセス

稲城市百村7 稲城市福祉センター (稲城市社会福祉協議会)

- ・京王相模原線「稲城駅」下車 徒歩7分
 - ・JR南武線「稲城長沼駅」下車 徒歩12分
 - ・i(あい)バス「福祉センター前」下車 徒歩1分
- ※お越しの際は、公共交通機関をご利用ください。